

教育調査結果報告

昨年末にご協力をお願いしました「杉並区教育調査アンケート」の結果をまとめました。247 件のご回答をいただきました（回収率 43.1％）。お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。

表中の「肯定率」とは選択項目「肯定」「やや肯定」の数値の合計を指します。参考として昨年度（令和 5 年度）の肯定率を載せています。									
○保護者対象			回収率 43.1％						
No.	保護者に対する質問内容	肯定	やや肯定	どちらでもない	やや否定	否定	回答不能	R 6 肯定率 (%)	R 5 肯定率 (%)
1	子どもは、授業で学ぶことにより、毎日の生活を自分でよりよくするためにできているが増えている。	25.5	44.9	24.7	2.0	1.6	1.2	70.4	68.9
2	子どもは、学校でみんなと一緒に過ごすことによって、社会を自分たちで変えるための知識や考え方が身に付いている。	26.3	45.7	21.5	4.5	1.2	0.8	72.1	71.3
3	子どもは学校で、障害者、外国人、性的マイノリティ等の人権に関する多様な価値観について学んでいる。	8.9	24.7	39.7	10.5	6.1	10.1	33.6	38.1
4	学校は、子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探求したりできるよう、家庭・地域・民間の団体や企業等と連携している。	20.2	44.1	23.1	6.5	2.8	3.2	64.4	66.1
5	連携する小・中学校による小中一貫教育（小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等）が進められている。	7.7	21.5	34.8	13.4	7.3	15.4	29.1	38.4
6	子どもは、児童・生徒 1 人 1 台専用のタブレット端末や学習 e ポータル、様々なデジタルコンテンツを、自分の学びや生活の必要に応じ、選択して活用している。	22.7	36.0	23.9	7.7	4.5	5.3	58.7	64.7
7	学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫がなされている。	13.4	36.0	38.1	4.9	4.0	3.6	49.4	55.7
8	学校は、いじめを絶対に許さないという雰囲気がある。	8.9	35.2	37.7	4.9	2.0	11.3	44.1	51.9
9	学校は、子どもの日常の学びの状況や評価方法について、参観、面談、HP、お便り等により十分提供している。	27.1	47.8	19.4	4.9	0.4	0.4	74.9	73.4
10	学校は、欠席等連絡、お便りの配布、アンケートの実施のオンライン化がすすめられている。	59.9	35.2	3.2	0.8	0.4	0.4	95.1	85.1
11	学校では、教職員、他の保護者、地域の方等とかかわり、子どもの成長や学校生活について考えたり話したりすることができている。	19.4	43.3	25.5	7.7	1.6	2.4	62.8	57.8
12	子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校はその解決をきめ細かく支援してくれている。	15.4	34.4	32.8	8.5	1.6	7.3	49.8	45
13	学校は、通常の学級や特別支援学校、特別支援学級の子どもが相互交流したり、一緒に活動する機会をつくっている。	8.5	18.2	37.2	7.7	5.3	23.1	26.7	26
14	子どもは、学校生活を楽しんでいる。	42.9	36.8	13.0	3.2	2.8	1.2	79.8	79.2
15	学校は、児童と幼児の交流、保護者への理解啓発等、幼児教育から小学校教育への円滑な接続を意識した取組を積極的に行っている。	15.4	39.7	30.0	4.5	2.8	7.7	55.1	49.1

質問 1,2 では肯定率が 7 割以上となりました。児童が自分たちで学校生活を創っていく意識をもつことで、主体的に学習や生活に取り組んでいる姿を高く評価していただいた結果だと受け止めます。今年度、進んだのが学校だよりやアンケートのオンライン化です（質問 10）。一方、児童のタブレットについては効果的な利用の仕方（質問 6）について検討していく必要があると考えています。

小中の連携（質問 5）では、肯定率が下がりました。今年度も井草中、桃四小、本校合同で年 2 回の教員研修会を実施し、6 年生は部活動体験活動を行うなど連携に取り組んできましたが、今後もそれぞれの活動の充実を図っていきたいと考えます。質問 8 について、肯定率は昨年度より下がりましたが、「否定」「やや否定」の数値は半減しました。学校では、日頃より子どもたちの声に耳を傾けるよう努めています。また年 3 回、いじめに関するアンケートを実施しており、道徳を中心に相手を思いやる心や人との関わり方について学ぶ授業を行ってきました。今後も、今まで以上に児童に寄り添い、お互いを認め合う中で他者意識を高め、児童が楽しく、安心して学校生活が送れるように取り組んでまいります。

今年度も教育調査へのご協力ありがとうございました。いただいた回答結果を真摯に受け止め教育活動を振り返り、学校と家庭、地域が連携して子どもたちの成長を支えていければと考えています。引き続き、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

○児童対象 4 学年から 6 学年（1 1 月実施）			肯定率
1	授業の理解	国語の授業の内容はどのくらい分かりますか。	92.3
2		社会の授業の内容はどのくらい分かりますか。	92.7
3		算数の授業の内容はどのくらい分かりますか。	91.9
4		理科の授業の内容はどのくらい分かりますか。	90.2
5	得意と感じる意欲の程度	国語の学習はどのくらい得意ですか。	72.6
6		社会の学習はどのくらい得意ですか。	80.8
7		算数の学習はどのくらい得意ですか。	79.1
8		理科の学習はどのくらい得意ですか。	76.9
9	学習の動機	分かることやできることが楽しいから。	88.9
10		しっかり考えられるようになりたいから。	92.7
11		将来の仕事や生活に役立つから。	89.3
12		友達や先生と学習するのが楽しいから。	87.6
13		学校の学習で人に負けたくないから。	37.2
14		先生や家の人にほめられたり、ごほうびをもらえたりするから。	40.2
15	学習の進め方（教科共通）	確実にできるようになるまで、くり返し練習している。	70.1
16		難しいと感じる問題でも、最後まであきらめずに取り組んでいる。	81.2
17		分からないことがあっても、学習を続けるようにしている。	85.9
18		集中して学習に取り組んでいる。	88.9
19		どうやったろうまくいくかを考えてから学習を始めるようにしている。	73.1
20		学習の途中で、分からないところやできないところはどこかを考えている。	82.1
21		学習をしてもできるようにならないときは、学習の方法を工夫している。	75.2
22		テストでまちがえたときは、なぜまちがえたのかを考えている。	77.4
23		他の人と意見がちがったときは、質問をして相手の考えを確かめている。	69.2
24		分からないときは、他の人や先生に質問して解決している。	77.4
25		自分が考えたことを、積極的に他の人や先生に伝えようとしている。	64.1
26		他の人と相談して、考えを深めるようにしている。	76.9
27		学習していて分からない言葉があれば、すぐに調べるようにしている。	72.2
28		どうしてそうなるのかという理由を考えながら学習している。	83.3
29		答えだけではなく、考え方も確かめながら学習している。	80.8
30		大切な言葉や公式などは、意味を理解して覚えるようにしている。	89.7
31	杉並区独自項目	新しいことを学んで身に付けようとするとき、自分で計画を立てて学習を進めることができる。	65.4
32		相手（あいて）が自分とはう考えや気持ちでも、受け止めている。	70.9
33		いまの学校のみんななら、協力して、全員が通うことが楽しくなる学校をつくれると思う。	59.4
34		授業では、学習の方法やペースを自分で選んだり決めたりしながら学んでいる。	72.2
35		授業中、分からないことがあれば、先生が自分に合わせて教えてくれる。	55.1
36		自分には、自分のやりたいことを応援してくれる身近な地域の大人がいる。	67.1
37		授業では、タブレット端末を活用した授業を行っている。	86.8
38		学校の生活が楽しい。	72.2
39		読書は好きである。	60.3

今年度の児童対象の調査は 4 年生以上での調査となりました。また、昨年度と質問項目が変わりましたので、昨年度との比較ができないため、数値（%）は 3 学年合わせた肯定率のみを載せています。肯定率とは、選択項目「そう思う」「ややそう思う」の合計の割合です。

「授業の理解」では、「学習内容は分かりますか？」の質問に対して、各教科とも肯定率が 9 割以上と高く、学習への理解度が高いです。一方で「得意ですか？」の質問に対しては肯定率が 8 割に満たない教科が多く、理解はしているがそれが自信につながっていない児童がいると考えられます。

「学習の動機」に関わる質問 9～12 が 9 割前後の肯定率になっています。特に「しっかり考えられるようになりたい」という項目の肯定率が高く、これらの児童の気持ちを大切に、思考力を高め、「わかる」授業づくりに今後も取り組んでいきたいと考えます。

質問 23「意見が違ったときは相手の考えを確かめている」質問 25「自分の考えを積極的に伝えようとしている」では、肯定率が 6 割台でした。様々な考えをもった人と生活していく中では、自分の考えを相手に伝えられる、相手の考えを確かめていくことがとても大切になってきます。学校では、近隣の学校や施設、地域の方と連携し、児童が様々な人やもの、ことと意図的に出会う機会をつくり、自分とは違う考えに触れることができるようにしてきました。また、授業の中では、グループ活動を多く取り入れ、自分の思いや考えが表現できるよう指導の工夫を学校全体で取り組んできました。

多様化が進むこれからの社会を生きていくために必要な力を身に付けていくために、これからも引き続きこのような機会を設け、三谷小の児童が自信をもって人と関わることができるようにしていきたいと考えます。